



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社

コード番号 8129 URL <https://www.tohohd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有働 敦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長兼経営企画・IR部長 (氏名) 河村 真 (TEL) 03 (6838) 2803

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	917,175	△5.3	3,298	△75.1	7,512	△58.3	3,970	△66.5
2020年3月期第3四半期	968,202	4.4	13,226	28.8	18,000	23.4	11,870	25.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 10,295百万円(△37.4%) 2020年3月期第3四半期 16,455百万円(124.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	56.32	51.71
2020年3月期第3四半期	172.00	152.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	718,499	239,674	33.3
2020年3月期	670,827	231,009	34.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 239,511百万円 2020年3月期 230,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期配当金の内訳 記念配当 10円00銭 普通配当 30円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現時点で判断することが困難なことから未定としております。開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	78,270,142株	2020年3月期	78,270,142株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	7,759,693株	2020年3月期	7,759,209株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	70,510,790株	2020年3月期3Q	69,016,497株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結貸借対照表関係)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における医療用医薬品市場は、2020年4月の薬価改定やジェネリック医薬品使用促進をはじめとする医療費抑制策の影響に加えて、新型コロナウイルス感染症の第三波ともいわれる更なる流行拡大に伴い、感染リスクを警戒した患者様の受診抑制が再び拡大しており、引き続き厳しい環境下で推移しました。このような状況において、当社グループは、医療・健康・介護に携わる企業集団として、「非常時においても医薬品等を安定供給する」という当社グループの社会的使命の下、医療提供体制を維持すべく医薬品等の安定供給を最優先とした活動に努めました。

患者様や医療機関様などが抱える課題を解決する当社独自の顧客支援システムにつきましては、新たなラインナップとしてオンライン診療・服薬指導システム「KAITOS（カイトス）」の提供を2021年2月5日に開始しました。安心して医療機関を受診したい患者様と、患者様へ安全・安心な医療サービスを提供したい医療機関の双方のニーズに応えるため、当社グループの総力を挙げて取り組んでまいります。

また、当社グループの高機能な物流体制、緊急時への対応とこれまでの受託実績を評価いただき、2020年12月10日よりシンバイオ製薬株式会社の抗悪性腫瘍剤トレアキシン®の流通業務を受託しております。更に、金沢大学発の医療系ベンチャー企業である株式会社キュービクスと独占的販売に関する業務提携を行い、2020年12月21日より同社の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）検出キットを独占的に販売しております。

当第3四半期の連結業績は、売上高917,175百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益3,298百万円（前年同期比75.1%減）、経常利益7,512百万円（前年同期比58.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,970百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。なお当連結会計年度より共創未来ファーマ株式会社を新たに連結子会社としたことに伴い、セグメント区分に医薬品製造販売事業を追加しております。

医薬品卸売事業においては、「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」に基づき、個々の製品価値に見合った単品単価交渉に努めました。また、エンタッチ株式会社との協業によるリモートディテリングサービスや、初診受付サービス、診療予約システムといった接触機会の低減に貢献する顧客支援システムの提案活動に努めたほか、薬局本部システム『ミザル』を活用した配送回数の最適化や、納品時に検品を行わない「ノー検品」の推進など、お得意先・当社グループ双方の業務効率化に貢献する配送ビジネスモデルを推進いたしました。しかしながら、卸間の価格競争や、新型コロナウイルスへの感染を警戒した患者様の受診抑制の影響を大きく受け、当第3四半期の医薬品卸売事業の売上高は881,643百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント利益（営業利益）は3,318百万円（前年同期比75.6%減）となりました。

調剤薬局事業においては、調剤報酬改定への対応に取り組むとともに、本部への業務集約による経営の効率化を推進いたしました。また、薬局本部システム『ミザル』の需要予測に基づいた自動発注機能の活用により、在庫の適正化を図るなど収益性の改善に取り組みましたが、患者様の受診抑制に伴う処方箋応需枚数の減少もあり、売上高は68,387百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益（営業利益）は1,742百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

医薬品製造販売事業においては、自社で構築した独自の検証システムに基づき製品の品質を厳しく監視することで、高品質・高付加価値な医薬品の安定供給と製造販売に取り組んでおります。また、ジェネリック医薬品については2020年12月に2成分7品目を新たに発売するなど製品ラインナップの拡充を図り、2020年12月末時点での販売製品は83成分202品目となりました。この結果、売上高は6,131百万円、セグメント利益（営業利益）は636百万円となりました。

治験施設支援事業においては、売上高は157百万円（前年同期比17.8%減）、セグメント損失（営業損失）は226百万円、情報機器販売事業においては、売上高は790百万円（前年同期比17.5%減）、セグメント損失（営業損失）は125百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.6%増加し、514,500百万円となりました。これは、現金及び預金が12,214百万円、受取手形及び売掛金が15,787百万円、商品及び製品が5,296百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%増加し、203,999百万円となりました。これは、有形固定資産が2,386百万円、投資有価証券が9,455百万円それぞれ増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.1%増加し、718,499百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、413,989百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が39,109百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、64,835百万円となりました。これは、その他のうち繰延税金負債が3,716百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8.9%増加し、478,825百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、239,674百万円となりました。これは、利益剰余金が2,234百万円、その他有価証券評価差額金が6,324百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現時点で判断することが困難なことから未定としております。

開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,219	96,434
受取手形及び売掛金	285,548	301,336
有価証券	10	-
商品及び製品	75,679	80,975
原材料及び貯蔵品	-	201
その他	32,838	36,070
貸倒引当金	△337	△517
流動資産合計	477,958	514,500
固定資産		
有形固定資産	96,399	98,785
無形固定資産		
のれん	760	446
その他	3,843	4,476
無形固定資産合計	4,604	4,923
投資その他の資産		
投資有価証券	80,351	89,806
その他	13,930	12,951
貸倒引当金	△2,416	△2,467
投資その他の資産合計	91,865	100,289
固定資産合計	192,869	203,999
資産合計	670,827	718,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,140	394,249
短期借入金	2,666	4,918
未払法人税等	5,267	454
賞与引当金	3,392	1,516
役員賞与引当金	82	61
返品調整引当金	287	260
資産除去債務	20	101
その他	11,144	12,426
流動負債合計	378,000	413,989
固定負債		
社債	20,063	20,048
長期借入金	19,223	16,987
退職給付に係る負債	2,042	2,272
資産除去債務	1,142	2,706
その他	19,345	22,820
固定負債合計	61,817	64,835
負債合計	439,818	478,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	49,271	49,378
利益剰余金	165,745	167,980
自己株式	△15,785	△15,784
株主資本合計	209,881	212,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,469	31,794
土地再評価差額金	△4,507	△4,507
その他の包括利益累計額合計	20,961	27,286
新株予約権	166	162
純資産合計	231,009	239,674
負債純資産合計	670,827	718,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	968,202	917,175
売上原価	881,426	842,460
売上総利益	86,776	74,714
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	34,903	33,134
賞与引当金繰入額	1,632	1,223
役員賞与引当金繰入額	53	61
退職給付費用	173	175
福利厚生費	6,069	5,803
車両費	824	693
貸倒引当金繰入額	△59	236
減価償却費	4,078	4,283
のれん償却額	487	314
賃借料	5,850	6,247
租税公課	1,598	1,344
仮払消費税の未控除費用	4,290	4,691
その他	13,648	13,206
販売費及び一般管理費合計	73,550	71,416
営業利益	13,226	3,298
営業外収益		
受取利息	56	53
受取配当金	1,163	1,176
受取手数料	2,409	2,349
負ののれん償却額	7	-
持分法による投資利益	64	12
その他	1,350	1,426
営業外収益合計	5,050	5,019
営業外費用		
支払利息	22	59
不動産賃貸費用	193	188
その他	60	556
営業外費用合計	276	805
経常利益	18,000	7,512

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	15	14
投資有価証券売却益	65	25
その他	15	3
特別利益合計	96	42
特別損失		
固定資産処分損	46	75
減損損失	107	55
投資有価証券評価損	20	75
その他	66	52
特別損失合計	241	259
税金等調整前四半期純利益	17,854	7,295
法人税、住民税及び事業税	5,829	1,816
法人税等調整額	154	1,507
法人税等合計	5,983	3,324
四半期純利益	11,870	3,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,870	3,970

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	11,870	3,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,536	6,323
持分法適用会社に対する持分相当額	47	0
その他の包括利益合計	4,584	6,324
四半期包括利益	16,455	10,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,455	10,295
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社連結子会社である東邦薬品株式会社は、2019年11月27日に独立行政法人地域医療機能推進機構（ＪＣＨＯ）を発注者とする医療用医薬品の入札に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして公正取引委員会による立入検査を受け、また2020年10月13日には公正取引委員会に加え東京地方検察庁特別捜査部による捜索を受けました。そして東邦薬品株式会社及び当社社員1名は、2020年12月9日に独占禁止法違反容疑で公正取引委員会から刑事告発され、東京地方検察庁により起訴されました。

これらの結果により、今後当社グループの連結業績に影響を及ぼす可能性があります、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	895,312	72,027	191	671	968,202	—	968,202
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,475	188	—	286	36,951	△36,951	—
計	931,788	72,216	191	958	1,005,153	△36,951	968,202
セグメント利益又は損失(△)	13,605	1,782	25	△38	15,374	△2,148	13,226

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	医薬品製造 販売事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上 高	846,229	68,383	1,758	157	646	917,175	—	917,175
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	35,414	3	4,373	—	144	39,935	△39,935	—
計	881,643	68,387	6,131	157	790	957,110	△39,935	917,175
セグメント利益又は 損失(△)	3,318	1,742	636	△226	△125	5,345	△2,047	3,298

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から共創未来ファーマ株式会社を連結の範囲に含めたことにより、「医薬品製造販売事業」を報告セグメントに追加しております。